

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金配当支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基準日	毎年3月31日 (そのほか必要があるときはあらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店
単元株式数	1,000株

世界の技術光源になる。

ICHIKOH

市光工業株式会社 〒141-8627東京都品川区東五反田5丁目10番18号 TEL.03-3443-7281 FAX.03-3443-7233 URL : <http://www.ichikoh.com/>



平成18年度

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

中間

報告書



ICHIKOH

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに当社グループ平成18年度中間期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当中間期における日本経済は、企業収益の改善を背景とした設備投資の増加や堅調な個人消費に支えられ、景気は回復を続けました。海外におきましては、米国では、個人消費の伸びが緩やかになっているものの、株価が最高値を記録するなど底堅く推移し、中国を始めとするアジアにおいては、一部で原油高騰の影響等による拡大ペースの鈍化がみられましたが、総じて高成長を維持しました。

自動車の生産台数につきましては、国内生産が輸出増加により前年を上回り、海外では北米、欧州が堅調ななか、中国を始めとするアジアが増加し、世界生産台数は前年に比べ微増となりました。

このような環境のもと、当社グループは売上高の拡大に向け、技術開発部門の強化、生産能力の増強、原価低減活動を展開して参りました。

その結果、当中間期の連結売上高状況、その他の営業概況は以下の通りであります。

当社グループ主力の自動車関連部品の売上高は56,572百万円、自動車関連以外の部門は1,605百万円で、当中間期の連結売上高は58,178百万円となりました。収益面につきましては、合理化による原価改善や設備投資の効果等により、連結経常利益は2,081百万円を計上しましたが、当社製品の品質問題に関わる処置費用の見込額を特別損失として計上したこと等により、連結中間純損益は2,949百万円の損失となりました。

今後の日本経済の見通しにつきましては、引き続き堅調に推移することが予想されますが、原油価格の動向等の不安材料を抱え、必ずしも楽観できない状況にあります。また、米国では景気減速が懸念されており、中国では政府の金融引き締め策や人民元相場の上昇により拡大ペースの鈍化が予想されます。

自動車業界におきましては、国内生産台数の大きな伸びは期待できない反面、アジアの生産は今後も好調に推移するものと思われれます。

このような情勢のもと、当社グループは受注活動の強化、技術開発力の向上、生産能力の増強に加え、さらなる原価低減活動を展開し、グループ一丸となって企業体質の強化と業績向上に邁進していく所存であります。

以上により、平成19年3月期の連結決算見通しにつきましては、連結売上高121,000百万円、連結経常利益3,800百万円、連結当期純利益は900百万円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月

代表取締役社長

市川 脩男



目次

株主の皆さまへ	1
ICHIKOH WORKS	2
財務ハイライト	3
中間連結決算概要	4
中間単独決算概要	6
Topics	8
株式の状況	12
会社概要	13

湘南新宿ラインに次ぐ、大型受注！ JR中央線先頭車両280両！ 前部標識灯560個にICHIKOHのHIDが採用されました!!

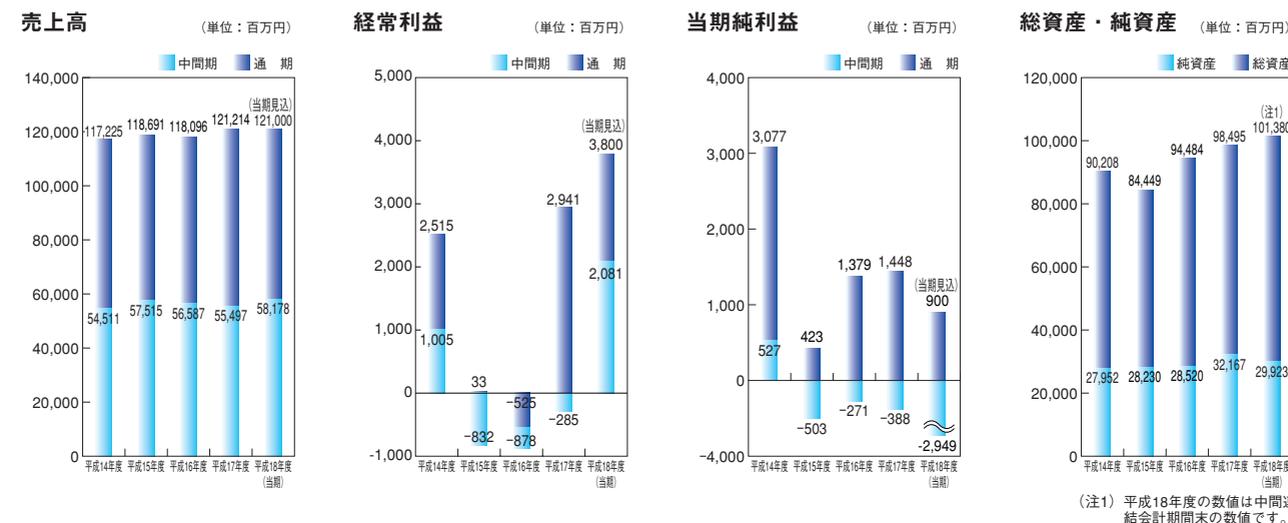


ICHIKOHが、JR中央線（233系）の先頭車両280車両向けの前部標識灯を受注しました。新開発の鉄道車両用ランプ「HID前部標識灯」560個（1車両2個使用）を納入します。これは、2000年に受注した、湘南新宿ライン300車両に次ぐ、大型受注となりました。ICHIKOHは、これまでに秋田新幹線「こまち」、特急「はつかり」「はくたか」「フレッシュひたち」等の特急用車両、JR東北本線（宇都宮線）・高崎線の近郊型通勤車両、「小田急ロマンスカー・VSE50000形」などを中心にHID前部標識灯を提供してきました。これらの実績を背景に、現在ICHIKOHの鉄道車両におけるHID前照灯のシェア率は、70～80%。採用車種は、未だ拡大中で、今後はJR京葉線からの受注も可能性があるようです。現在、HIDへの移行が進んでおり、これからの受注増加は大いに期待できそうです。ICHIKOHは今後も自動車部品で培ってきた生産技術を生かして鉄道車両向けランプの開発を進めていきます。

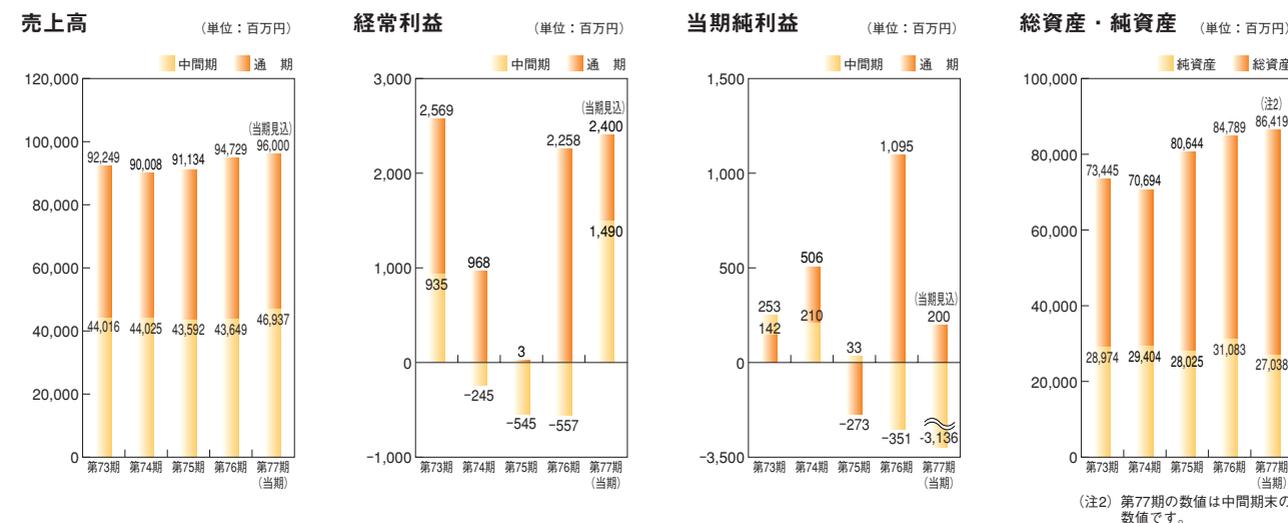
（注1）平成18年度の数値は中間連結会計期間末の数値です。



連結財務ハイライト



単独財務ハイライト



（注2）第77期の数値は中間期末の数値です。

中間連結決算概要

中間連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間末	前連結会計年度末	科 目	当中間連結会計期間末	前連結会計年度末
	平成18年9月30日現在	平成18年3月31日現在		平成18年9月30日現在	平成18年3月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	48,399	46,896	流 動 負 債	46,472	38,234
現金及び預金	9,297	7,385	支払手形及び買掛金	20,941	20,890
受取手形及び売掛金	22,312	24,391	短期借入金	6,351	4,554
有価証券	92	93	1年以内償還予定の社債	80	80
たな卸資産	8,437	8,180	1年以内返済予定の長期借入金	4,902	4,430
繰延税金資産	4,380	1,543	未払金	499	776
その他	3,955	5,401	未払法人税等	907	1,744
貸倒引当金	△ 76	△ 99	未払費用	3,304	3,096
固 定 資 産	52,981	51,599	製品保証引当金	7,260	473
有形固定資産	29,551	28,265	役員賞与引当金	27	—
建物及び構築物	8,186	8,471	その他	2,198	2,188
機械装置及び運搬具	9,216	9,659	固 定 負 債	24,985	26,581
工具器具及び備品	2,897	2,712	社債	220	260
土地	5,842	5,844	長期借入金	10,583	12,588
建設仮勘定	3,408	1,577	退職給付引当金	12,082	11,668
無形固定資産	196	205	役員退任慰労引当金	293	265
投資その他の資産	23,233	23,128	その他	1,804	1,799
投資有価証券	12,401	13,342	負 債 合 計	71,457	64,816
長期貸付金	28	27	少 数 株 主 持 分	—	1,512
繰延税金資産	7,227	6,711	資 本 の 部	—	8,929
その他	3,615	3,087	資本金	—	7,840
貸倒引当金	△ 38	△ 39	資本剰余金	—	15,221
資 産 合 計	101,380	98,495	利益剰余金	—	2,625
			その他有価証券評価差額金	—	2,431
			為替換算調整勘定	—	△ 18
			自己株式	—	△ 18
			資 本 合 計	—	32,167
			負 債、少数株主持分及び資本合計	—	98,495
			純 資 産 の 部	—	—
			株主資本	28,679	—
			資本金	8,929	—
			資本剰余金	7,840	—
			利益剰余金	11,928	—
			自己株式	△ 19	—
			評価・換算差額等	△ 381	—
			その他有価証券評価差額金	2,057	—
			為替換算調整勘定	△ 2,439	—
			少数株主持分	1,625	—
			純 資 産 合 計	29,923	—
			負 債 純 資 産 合 計	101,380	—

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
	平成18年4月1日から平成18年9月30日まで	平成17年4月1日から平成17年9月30日まで
売上高	58,178	55,497
売上原価	49,115	48,621
販売費及び一般管理費	7,330	7,516
営業利益又は営業損失(△)	1,732	△ 641
営業外収益	759	694
営業外費用	409	337
経常利益又は経常損失(△)	2,081	△ 285
特別利益	29	14
特別損失	6,903	236
税金等調整前中間純損失	4,792	506
法人税、住民税及び事業税	927	135
法人税等調整額	△ 2,968	△ 272
少数株主利益	198	18
中 間 純 損 失	2,949	388

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
	平成18年4月1日から平成18年9月30日まで	平成17年4月1日から平成17年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,814	1,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,877	△ 3,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 50	△ 1,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4	28
現金及び現金同等物の増減額	1,882	△ 3,537
現金及び現金同等物の期首残高	6,783	9,133
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,665	5,595

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）

（単位：百万円）

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等			少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日残高	8,929	7,840	15,221	△18	31,973	2,625	△2,431	193	1,512	33,679
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△287	—	△287	—	—	—	—	△287
利益処分による役員賞与	—	—	△55	—	△55	—	—	—	—	△55
中間純利益又は純損失(△)	—	—	△2,949	—	△2,949	—	—	—	—	△2,949
自己株式の取得	—	—	—	△1	△1	—	—	—	—	△1
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△567	△7	△575	113	△462
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△3,292	△1	△3,294	△567	△7	△575	113	△3,756
平成18年9月30日残高	8,929	7,840	11,928	△19	28,679	2,057	△2,439	△381	1,625	29,923

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間単独決算概要

中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第77期中間期末	第76期末	科 目	第77期中間期末	第76期末
	平成18年9月30日現在	平成18年3月31日現在		平成18年9月30日現在	平成18年3月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
流動資産	39,306	38,973	流動負債	37,877	30,799
現金及び預金	6,037	4,238	支払掛手形	4,881	4,545
受取手形	1,072	1,069	買掛金	14,774	14,663
売掛金	17,562	19,388	短期借入金	1,900	1,900
有価証券	17	18	1年以内返済予定の長期借入金	3,599	3,265
製品	1,640	1,669	未払金	337	443
原材料・貯蔵品	1,580	1,627	未払法人税等	814	1,489
仕掛品	788	796	未払費用	2,524	2,243
前払金	1,268	1,438	製品保証引当金	7,260	473
未収入金	2,405	3,975	役員賞与引当金	26	—
関係会社短期貸付金	3,433	4,002	固定負債	21,503	22,906
繰延税金資産	3,963	1,150	長期借入金	7,977	9,835
その他	165	205	退職給付引当金	11,475	11,046
貸倒引当金	△ 628	△ 607	役員退任慰労引当金	272	246
固定資産	47,113	45,815	長期預り金	1,777	1,777
有形固定資産	22,738	21,557	負債合計	59,380	53,705
建物	5,957	6,178	資本の部	—	8,929
構築物	260	272	資本剰余金	—	7,393
機械及び装置	7,405	7,758	資本準備金	—	7,393
車両運搬具	22	25	利益剰余金	—	12,241
工具器具及び備品	1,886	1,834	利益準備金	—	1,543
土地	4,287	4,287	配当引当金	—	600
建設仮勘定	2,918	1,200	固定資産圧縮積立金	—	358
無形固定資産	151	159	別途積立金	—	8,409
ソフトウェア	52	60	中間(当期)未処分利益	—	1,329
その他	99	99	その他有価証券評価差額金	—	2,537
投資その他の資産	24,222	24,097	自己株	—	△ 18
投資有価証券	11,398	12,350	資本合計	—	31,083
関係会社株式	2,127	2,072	負債及び資本合計	—	84,789
関係会社出資金	1,159	695	純資産の部	25,066	—
長期貸付金	2,270	2,315	資本剰余金	8,929	—
繰延税金資産	6,873	6,306	資本準備金	7,393	—
その他	1,560	1,525	利益剰余金	8,763	—
貸倒引当金	△ 1,168	△ 1,168	利益準備金	1,543	—
資産合計	86,419	84,789	配当引当金	600	—
			固定資産圧縮積立金	—	—
			別途積立金	8,409	—
			繰越利益剰余金	△ 2,143	—
			自己株	△ 19	—
			評価・換算差額等	1,972	—
			その他有価証券評価差額金	1,972	—
			純資産合計	27,038	—
			負債純資産合計	86,419	—

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第77期中間期	第76期中間期
	平成18年4月1日から平成18年9月30日まで	平成17年4月1日から平成17年9月30日まで
売上高	46,937	43,649
売上費及び一般管理費	41,409	40,292
営業利益又は営業損失(△)	4,553	4,420
営業外収益	975	△ 1,064
営業外費用	739	690
受取利息及び配当金	192	124
固定資産売却益	228	227
その他の営業外収益	317	338
営業外費用	224	184
支払利息	85	73
固定資産貸与費用	70	85
その他の営業外費用	68	25
経常利益又は経常損失(△)	1,490	△ 557
特別利益	0	219
固定資産処分利益	0	3
その他の特別利益	—	216
特別損失	6,833	332
固定資産処分損	76	103
製品保証引当金繰入	6,757	—
その他の特別損失	—	229
税引前中間純損失	5,342	670
法人税、住民税及び事業税	787	24
法人税等調整額	△ 2,992	△ 343
中間繰越利益	3,136	351
中間未処分利益	—	522
	—	170

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本										評価・換算差額等	純資産合計	
	資本金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計					
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金									
平成18年3月31日残高	8,929	7,393	1,543	600	358	8,409	1,329	12,241	△18	28,546	2,537	2,537	31,083
中間会計期間中の変動額													
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△287	△287	—	△287	—	—	△287
利益処分による役員賞与	—	—	—	—	—	—	△52	△52	—	△52	—	—	△52
固定資産圧縮積立金取崩額	—	—	—	—	△4	—	4	0	—	0	—	—	0
中間純利益又は純損失(△)	—	—	—	—	—	—	△3,136	△3,136	—	△3,136	—	—	△3,136
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	△1	△1	—	—	△1
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△565	△565	△565
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	△4	—	△3,473	△3,477	△1	△3,479	△565	△565	△4,044
平成18年9月30日残高	8,929	7,393	1,543	600	353	8,409	△2,143	8,763	△19	25,066	1,972	1,972	27,038

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



LED Head Lamp

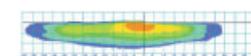
現在ICHIKOHでは自動車用ヘッドランプとしては新光源となるLEDを使用したヘッドランプを開発しています。LEDヘッドランプはプロジェクターユニット・バーユニットの組合せにより、自由度の高いデザイン（外観）を実現しています。また、LEDはまだ発展途上の光源であり、将来はHIDを凌ぐ配光性能を実現するのも可能です。

LEDヘッドランプはプロジェクターユニット、バーユニットの2種類のユニットを搭載し、それぞれがすれ違いビームの配光ゾーンを受け持ち、最適な配光を実現しています。各ユニットの機能的なレイアウトにより、機能美も実現しています。



ユニット構成
プロジェクターユニット：5個
バーユニット：2個

照射パターン



光度Max：17600 [cd]
光束：1100 [lm]

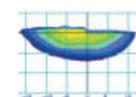
●プロジェクターユニット

プロジェクターユニットは、車両（ドライバー）前方の視認性を確保するユニットです。LEDの特性を生かした配光設計により、高効率のユニットを実現しています。

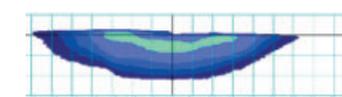
プロジェクターユニット



照射パターン（集光）



照射パターン（中拡散）



多彩なモデルに、多彩なフォルムの安全性能を提供しています。

それぞれのクルマのデザインに合わせ、常にベストの安全を提供し続けるICHIKOH。高度な配光設計シミュレーションや、製品の見映えを忠実に再現する3Dシミュレーション等、その先進の開発技術と確かな品質は、国内・国外の自動車メーカーからの高い評価と信頼に表れています。ヘッドランプ、リアコンビネーションランプ、ドアミラー…。あなたのクルマにもきっとICHIKOHの製品が使われています。

●バーユニット

バーユニットは、車両側方（路肩）の視認性を確保するユニットです。光の全反射を利用したユニットであり、高効率かつデザイン性の高いユニットを実現しています。

バーユニット



照射パターン（大拡散）



HCS

HeadLamp Cleaning System

欧州では、HIDなど基準光束2000lm以上の光源を持つヘッドランプに、ドライバーの夜間の視認性向上のため、ヘッドランプクリーナーの装着が義務付けられており、今後日本国内でも法規の導入が検討されています。ICHIKOHでも欧州で実績のあるVALEO社との提携により、現在、その性能や信頼性、デザイン、標準化などさまざまな課題に取り組んでいます。

●欧州法規への対応

現在欧州では基準光束2000lm以上の光源を持つヘッドランプに、クリーナー装着が義務付けられています。
※日本でも欧州法規の導入を検討しています。

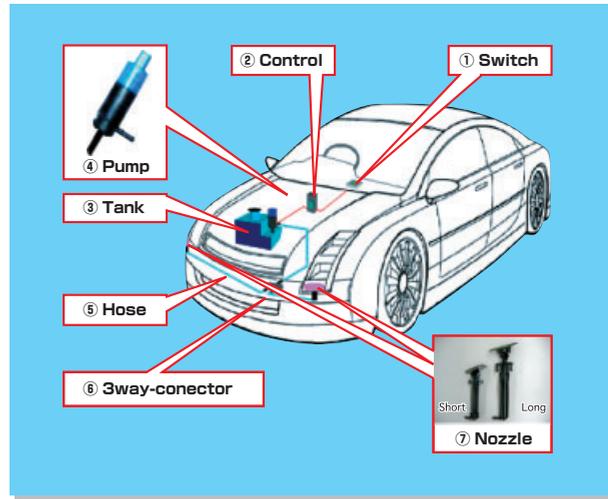
●安全性の向上

ドライバーの夜間の視認性を向上し、対向車への眩惑を低減します。

●特長

- ストロークの異なるノズルのバリエーション
.....多種多様なランプ形状に対応
- 高圧ポンプ（洗浄性）洗浄性能の向上▶安全走行の支援
- デザインについてヘッドランプとの一体感追求
▶車体造形に対するシンプル化への寄与

●HCS構成



IR Night View Door Mirror

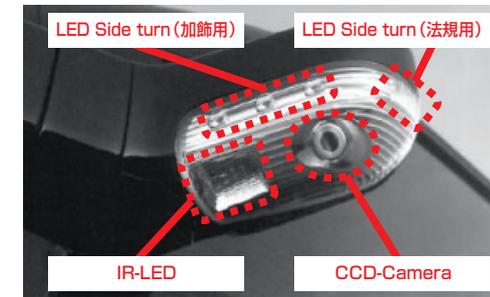
with Side Turn Lamp

電動リモコン機能や電動格納機能を組み込んだハウジングに、さらにLEDサイドターンランプと、夜間照明用の赤外線LED内蔵CCDカメラを装備したコンパクトな多機能ドアミラーユニットです。

●死角の低減（サイドブラインドモニター機能）

●夜間の視認性確保（世界初ナイトビュー機能）

●サイドブラインドモニター+ナイトビュー+サイドターンランプの三位一体ドアミラー



●カメラモニターのハレーション対策

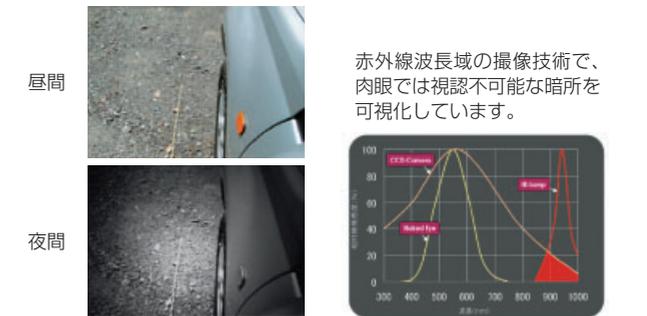
従来のフェンダー取り付けによるサイドターンランプではモニターへのハレーションの影響がありました。そこで、ドアミラーにサイドターンランプを内蔵し、カメラに影響をおよぼさない構造（PAT.P）にしたためハレーション対策を実現することができました。

●カメラモニターのハレーションあり（フェンダーウインカータイプ）



●ナイトビュー機能付サイドブラインドモニター

ドライバーの死角となる車両の左前方を、カメラで撮像。路肩等の確認がしやすく、道路の左端に安心して駐車が可能。また赤外線LED*によって夜間でも使用可能となっています。
※不可視光線



●カメラモニターのハレーションなし（サイドターンランプ内蔵タイプ）



株式の状況 (平成18年9月30日現在)

株式の総数及び資本金

資本金 8,929,538,428円

発行済株式の総数 96,036,851株

発行可能株式総数 200,000,000株

株式の異動

名義書換件数 134件

名義書換株式数 604,508株

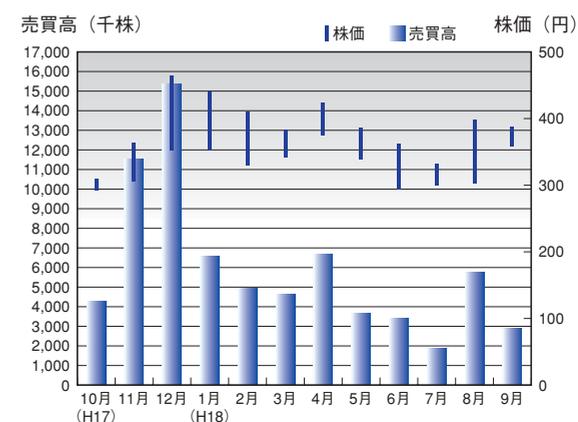
期末株主数 9,492名

大株主 (上位10社)

株主名	持株数	議決権個数	議決権比率
ヴァレオ・バイエン	27,587 千株	27,587 個	28.87 %
トヨタ自動車株式会社	5,869	5,869	6.14
株式会社みずほコーポレート銀行	4,775	4,775	4.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,688	3,688	3.86
ダイハツ工業株式会社	2,712	2,712	2.84
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,344	2,344	2.45
みずほ信託銀行株式会社	1,913	1,913	2.00
日本生命保険相互会社	1,860	1,860	1.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,822	1,822	1.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,223	1,223	1.28

(注) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

株価及び株式売買高の推移



会社概要 (平成18年9月30日現在)

商号 市光工業株式会社

設立 昭和14年12月20日

事業所

本社	〒141-8627 東京都品川区東五反田5-10-18 TEL 03 (3443) 7281
テクニカルセンター	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1488
伊勢原製造所	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
大泉製造所	〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1216-1 TEL 0276 (63) 2271
藤岡製造所	〒375-8508 群馬県藤岡市東平井1467 TEL 0274 (23) 2211
中津川製造所	〒509-9132 岐阜県中津川市茄子川1646-37 TEL 0573 (68) 6615
ミラー製造所	〒375-8507 群馬県藤岡市藤岡1360 TEL 0274 (23) 2121
中部支店	〒465-0025 愛知県名古屋市名東区上社4-130 TEL 052 (709) 2011
AM札幌センター	〒005-0036 北海道札幌市南区南36条西11-2-13 TEL 011 (581) 2166
大泉営業所	〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1216-1 TEL 0276 (63) 0760
大阪営業所	〒564-0052 大阪府吹田市広芝町15-39 TEL 06 (6384) 6551
九州営業所	〒802-0003 福岡県北九州市小倉北区米町1-3-1 TEL 093 (522) 5711

取締役及び監査役

代表取締役社長	市川 侑 男
専務取締役	寺田 勝彦
専務取締役	青木 俊朗
専務取締役	磯部 孝征
常務取締役	東出 洋治
常務取締役	津崎 栄二
常務取締役	二川 幸司
常務取締役	安藤 信雄
取締役	中野 孝雄
取締役	須賀 進
取締役	大坪 千二
取締役	小宮山 文夫
取締役	後藤 博美
取締役	米山 洋一
取締役	中村 智
取締役	ジャンポール・ラヴィエ
取締役	ティエリー・ドゥリュエ
取締役	クロード・レシュレ
常勤監査役	山本文雄
常勤監査役	住野 稠生
監査役	堤 淳一
監査役	蛭子 優

従業員数

連結	3,654名
単独	2,158名